

男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q62 公務員の世界でも女性活躍はどんどん広がっています。公務員の仕事の中でも、特に最前線の現場で活躍する農林水産省動物検疫所の職員の勤務の状況を教えてください。

A62 動物検疫とは、外国から輸入される動物・畜産物などを介して家畜の伝染性疾病が国内に侵入することを防止するほか、外国に家畜の伝染性疾病をひろげるおそれのない動物・畜産物などを輸出することによって我が国の畜産の振興に寄与しようとするもの。全国に28箇所の動物検疫所が設置され、105か所の空海港において検査を行っています。

動物検疫所では、海外から動物の病気が侵入することを防ぐために検査を行っています。

検査の対象は、牛や豚等の家畜やその畜産物をはじめ、犬・猫等の愛玩動物や、こい・金魚等の水産動物まで多岐に亘り、検査場所も空港や港、係留施設(動物の隔離検査を行う)等、様々です。

一般の皆様には、空港で働くビーグル犬がお馴染みかもしれません。彼らは、検査対象物の肉製品等を探知する「動植物検疫探知犬」です。その活動は、空港内に留まらず、郵便局での国際郵便物の探知、小学校での出前授業や各種イベントへ赴く宣伝部長でもあります。動物検疫の活動は、意外と身近な場所でも行われているのです。



新石垣空港における広報キャンペーンにて

動物検疫所の職員は国家公務員で、通常、3～5年毎に全国転勤を行います。

日頃、外国人と接する機会が多く、語学堪能な職員も在籍していますが、業務上必要に迫られ、入省後に勉強しています。

また、女性が多い職場(女性比率 50.8%*)であることも特徴の一つです。シフト勤務や泊り勤務、出張等もありますが、職員間また各家庭で調整し、対応しています。



クルーズ船における船内検査風景

さらに、女性職員だけでなく、男性職員も育児休暇を取得するようになり、特に管理職が率先して取得し、部下が後に続く雰囲気醸成しています。近い将来、介護休暇を取得する職員も増加していくことが予想されますが、介護理由の退職者を出さずに、お互い協力していけたらと思います。



農林水産省動物検疫所
沖縄支所検疫課

私、(太郎良 陽子氏)の勤務している沖縄支所の実情は、主に旅客の携帯品検査や、国際郵便物の検査及び犬猫等の輸出検査を行っていますが、沖縄県はクルーズ船入港数が全国一多い県であるため、その検査のため、出張が多くなっています。

私自身は、中学生と小学生の親であり、頻繁に家を空けるのは心苦しいですが、家族の協力と便利家電の力を借りて対応しています。

子供が小さい頃は、一日をやり過ごすことで精一杯でした。子供はしょっちゅう病気になるし、年休はギリギリ、仕事も家庭も中途半端であちこちに頭を下げて疲労困憊。

そんな頃、保育園で子供が熱を出し、早退を申し出た際の上司から一言「旦那さんが迎えに行けないの？」以降、何でも交渉してみるという技を身に着けたのでした。

女性は、結婚、妊娠、出産等、
様々な出来事に仕事の継続を阻ま
れることがあります。諦めない
図太さも肝心だと思います。
周りの全ての人に感謝の気持ちを
忘れず、これからも自分自身を磨
き、社会に貢献できるよう全力を
尽したいと思います。



海外から来航するヨットへの
検査・指導も行います

(※2019年4月現在 動物検疫所調べ)

出所 内閣府男女共同参画局 10月号